



なつ ほんばこ
夏の本箱

チャイルズタイムス
～ものがせたいしんぶん～
No.376 2025年7月

がくねんべつ
◇学年別おすすめ本

なつやす じしゅがくしゅう
◇夏休みの自主学習をおうえんする本

はつこう : さがみおおのとしよかん
でんわ : 042-749-2244

小学1・2年生向け



えほん **E/ケ**

『虫ガール ほんとうにあったおはなし』

ソフィア・スペンサー（虫ガール）、マーガレット・マクナマラ／文
ケラスコエット／絵 福本 友美子／訳 岩崎書店



ソフィアは虫がだいすきな女の子。ようちえんの時は虫クラブをつくって
友だちと虫を観察していました。でも小学1年生になると、「虫が好きな子
なんてやだよ」「かわってるよね」とみんながからかうようになったのです。
ソフィアはかなしくてしょんぼり。ママはソフィアをはげまそうと昆虫学者
にメールを出しました。するとすてきなことが……。



ものがたり **J913/オ**

『あいたくてたまらない』

ももいろの貝とやどかりぼうやのお話
おくやま ゆか／作 福音館書店



そうたは、おじいちゃんから大きなももいろの貝がらをもらいました。
ある夜、どこからかかなしそうな声が聞こえます。それは貝がらから引き
はなされ、海でひとりぼっちになったやどかりぼうやのなき声でした。そ
うたは貝がらとやどかりぼうやを再会させようと決めました。しかし、そ
うたはおよぐのが苦手……。はたして、うまくいくでしょうか？

ちしき **J29**

『ふじさんにつぼんいち！』

ひさかたチャイルド

日本でいちばん高い山がどの山かは、きっとみなさん知っていますよね。そう、ふじさんです。

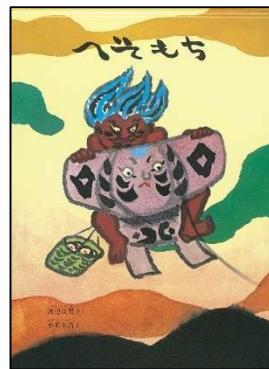
この本には、ふじさんがどうやってできたのか、一番上には何があるのか、など、ふじさんのひみつがたくさん書いてあります。日本には、「〇〇ふじ」とよばれる山がたくさんあるそうです。夏休みに旅行に行つてさがしてみるのも楽しいかもしれませんね。



えほん E/むかし/日本

『へそもち』

渡辺 茂男/作 赤羽 末吉/絵
福音館書店



黒いもの^{くろ}の上^{うへ}にかみなり^{かみなり}が住^すんでいました。かみなりは牛^{うし}や人間^{にんげん}のへそ^{へそ}を取^とって、人々^{ひとびと}をこまらせていました。へそを取^とられた人は力^{ちから}が入^{はい}らなくて仕事^{しごと}ができなくなってしまうのです。ある日^ひ、お寺^{でら}のおしょうさんはかみなりをつかまえる方法^{ほうほう}を思^{おも}いつきます。

たてながの絵^えで、はくりよくまんでんです。



ものがたり J933/ホ

『ちびっこ大せんしゅ』

シド・ホフ/文と絵 光吉 夏弥/訳 大日本図書

ハロルドは、やきゅうチーム^{なかに いちばん}の中で一番ちびっこのせんしゅです。どんなにれんしゅうしても、手^てやあしが長^{なが}いせんしゅにはかいません。ハロルドはなかなかしあいに^て出られませんでした。

ところがある日^ひ、せんしゅの一人^{ひとり}がしあいの中^{ちゅう}にけがをします。かわりに出られるせんしゅは、ハロルドいがい、だれもいません。まちにまったハロルドの出番^{でばん}です！ ハロルドはチームのピンチをすくえるでしょうか？

ちしき J42

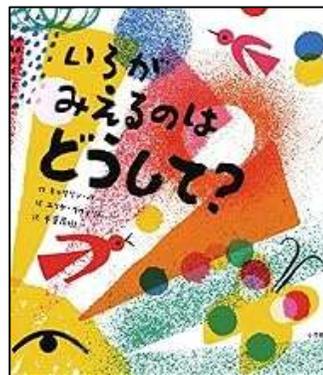
『いろがみえるのはどうして？』

キャサリン・バー/作 ユリヤ・グウィリム/絵
千葉 茂樹/訳 小学館

わたしたちの目^めにうつる「色^{いろ}」は、どうしてこんなにたくさんの種類^{しゅるい}があるのでしょうか？

それは、光^{ひかり}の波^{なみ}だったり、目^めのはたらきだったり、いろいろなしくみによるものなのです。

色^{いろ}のひみつとふしぎが楽しめる絵本^{えほん}です。



小学3・4年生向け

えほん E/シ

『注文の多い料理店』

宮沢 賢治/作 島田 睦子/絵 偕成社



狩りにきた2人の紳士が山の中でふしぎな料理店を見つけます。店にはたくさんの変わった注意書きがあり、2人はそれに従いながら進んでいきました。店の中で起きるふしぎな出来事に、だんだんと不安を感じる2人。

はたして、この店にはどんな秘密がかくされているのでしょうか……。



えほん E/す

『いわしくん』

菅原 たくや/著 文化出版局



海で泳いでいた「いわしくん」。つかまって、やかれて、男の子に食べられました。でも、それで終わりではありません。いわしくんは、男の子のからだの一部になって、また泳ぎだします。

食べものを大切にしたいと思う気持ちが、自然とわいてくる絵本です。

ちしき J14

『みんなそれぞれ心の時間』

一川 誠/文

吉野 晃希男/絵 福音館書店



「時計で見る時間」は、だれが見ても同じで、みんないっしょの時間です。では、一人ひとりが「感じる時間」はどうでしょうか？

同じ時間をすごしていても、長く感じる人もいれば、早く感じる人もいます。

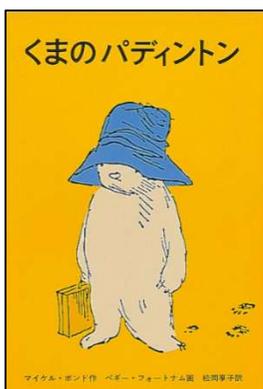
ふだん過ごしている「時間」について、ちょっと考えてみませんか？



ものがたり J913/ナ
『カッパのぬけがら』
なかがわ ちひろ/作 理論社



川におちたゲンタは、カッパに出会い、そのぬけがらを着ていっしょにすごしはじめます。川でのくらしは、にぎやかで、ふしぎで、楽しい日々。やがて秋がきて、ゲンタは元の世界へもどることになりました。ゆかいでちょっぴりさびしい、2人のひと夏の思い出が、心にあたたかくのこります。



ものがたり J933/ポ
『くまのパディントン』
マイケル・ボンド/作 ベギー・フォートナム/画
松岡 享子/訳 福音館書店

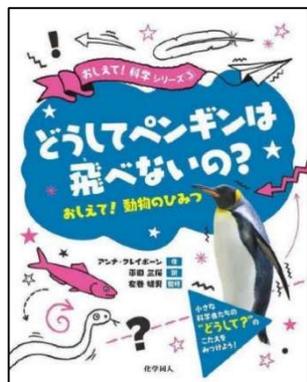


ある日、ロンドンのパディントン駅でブラウン夫妻が出会ったのは、スーツケースを持ち、帽子をかぶったくまでした。そのくまをブラウンさんたちは「パディントン」と名づけ、うちに連れて帰ります。好奇心旺盛で、なんでもやってみたくなるパディントンは、周りをびっくりさせるようなことをしては、みんなを笑顔にします。大騒動がいっぱいの楽しい物語シリーズ第1作目。

ちしき J480
『どうしてペンギンは飛べないの？
おしえて！ 動物のひみつ』
アンナ・クレイボーン/作 平田 三桜/訳
左巻 健男/監修 化学同人

ペンギンは鳥のなかまなのにどうして飛べないのでしょうか。そんな、ふだみなさんがふしぎに思っている動物のひみつ。この本を読むと、それがどうしてなのかがわかるかも！

他にも、「どうしてネコは卵を産まないの？」「ラクダのこぶにはなにが入っているの？」など、いろいろな質問の答えが、絵や写真と一緒にわかりやすく書かれています。



小学5・6年生向け



ちしき J54

『世界でいちばん優しいロボット』
 岩貞 るみこ／文 片塩 広子／絵
 講談社



分身ロボット「OriHime」を開発した吉藤健太郎さんについて書かれた本です。自身の経験から、孤独な思いをしている人のためのロボットを作りたい、と思った彼は、どのような道を歩んできたのでしょうか。

この他にも、2つのノンフィクションが収録されています。



ものがたり J913/ヒ

『ぼくは本を読んでいる。』
 ひこ・田中／著 講談社



小学5年生のルカの家には、両親が「本部屋」と呼んでいる部屋があります。むずかしそうな大人の本ばかり並んでいます。そこにたまたま足を踏み入れたルカは、紙のカバーがかかった本を見つけ、手に取ります。それは両親のどちらかが幼い頃に読んだと思われる本でした。その本が気に入り、読み始めるルカ。本の主人公や幼い頃の両親の気持ちを考えながら読み進めるうちに、ルカの世界はどんどん広がっていきます。



ものがたり J913/ヒ

『いばらの髪のノラ 1 黄金の心臓』
 日向 理恵子／作 吉田 尚令／絵 童心社



ノラは落ちこぼれの魔女。姉さんたちにしかられてばかりいます。そんな自分がいやでたまらないノラは、11歳の誕生日に〈黄金の心臓〉を手に入れるために人間が暮らす地上へやってきました。〈黄金の心臓〉があれば“ほんとうの魔女”になれるというのです。そして地上で出会った仲間とともに冒険の旅にです。

全3巻のファンタジー作品です。

ちしき J33

『天才デビッドの大実験！ ぼくたちが宿題をサボる理由』
ダン・アリエリー／著 オマー・ホフマン／絵
金原 瑞人／訳 静山社



デビッドは、ある日、宿題をサボりました。そして先生に怒られると、謝るところか、「誘惑が多すぎるのがいけないんだ！」と開き直ります。そして「誘惑に勝てる人間などいない」という仮説を立て、パパとママにある実験をしかけることにしました。

実験をする際に考えるべきことや具体的な方法を、楽しく学べる本です。みなさんはデビッドみたいに宿題をサボっちゃいけませんよ！



ものがたり J933 / モ

『七月の波をつかまえて』

ポール・モーシャール／作 代田 亜香子／訳 岩波書店



7月1日。これから1か月間、ジュイエはオーシャンパークという海辺の町でママと生活することになりました。ジュイエは身の回りのあらゆるものを怖がる、真っ黒コーデにゴスメイクの12歳の女の子。夏の開放的な町など、とても合いそうにありません。

ところが、ジュイエの生活は、太陽みたいに明るいサーファー・サマーとの出会いによって一変します。対照的な二人が、寄りそい、支えあって過ごした日々のもので、物語です。



ものがたり J993 / ス

『夏のサンタクロース フィンランドのお話集』

アンニ・スヴァン／作 ルドルフ・コイヴ／絵
古市 真由美／訳 岩波書店



妖精やこびとが登場する話や長い冬に春を待ちわびる話など自然豊かなフィンランドのお話が13編のっています。

表題作「夏のサンタクロース」は、魔物に盗まれたサンタクロースのブーツ（一歩で何十キロも進むことができる！）を子どもたちが取り返す話です。



なつやす

じしゅがくしゅう

ほん

夏休みの自主学習をおうえんする本



「ぼく」は、空を飛んで海にももぐれる夢のようなロボットを設計します。そして、このロボットに乗って、ジャングルや北極、深海やアンデス山脈など世界中を旅します。

それぞれの場所には見たこともない生き物がたくさんいます。それらの生き物の名前は、本の最後についていますので、気になった人はそこで答え合わせをしてみてくださいね。

ちしき J46

『ぼくのロボット大旅行』

松岡 達英／作 福音館書店



お菓子作りや料理は、実は色々な科学反応があるからこそできます。くいしんぼうにピッタリな実験の図鑑です。

ふわふわのホットケーキはどうやって作るの？ 焼いても溶けないアイスがあるの？ 色が変わるゼリーはどうやって作るの？

みているだけでも、お腹がすいてくるような「おいしい」実験が盛りだくさんです。

ちしき J40

『食べて楽しむ科学実験図鑑』

尾嶋 好美／著 SBクリエイティブ



みんなと同じようにできないから「問題児」として怒られてばかりいた著者が、自分史を振り返りつつ、自由になるために「小さな革命」をすすめる一冊。

そもそもみんなが守る「お約束事」が正しいのか？ みんなと違う自分はダメなのか？ 生活していると「？」と思うことがたくさん出てきます。

あなたの日々の行動が社会を変えるきっかけになることを、分かりやすく説明しています。

ちしき J30

『みんなで世界を変える！小さな革命のすすめ』

佐久間 裕美子／著 偕成社

